

人型ロボ、物流倉庫で働 く 荷物の向きをそろえ、 ベルトコンベヤーへ

S23161273 稲垣洋介

概要

- ロボット開発企業の米Figureは6月6日（日本時間）、同社の人型ロボット「Figure 02」が物流倉庫で作業する動画を公開した。動画では、ロボットが荷物の向きをそろえ、ベルトコンベヤーに流していく様子を確認できる。

FIGURE

- 2022年に設立された、米カリフォルニアが拠点のロボットを開発するスタートアップ
- 2024年2月マイクロソフト、OpenAI、NVIDIAなど額6億7,500万ドルもの資金を調達し、評価額は一気に26億ドルに拡大した。
- 「Figure 01」がありすでにBMWの工場に採用されている。

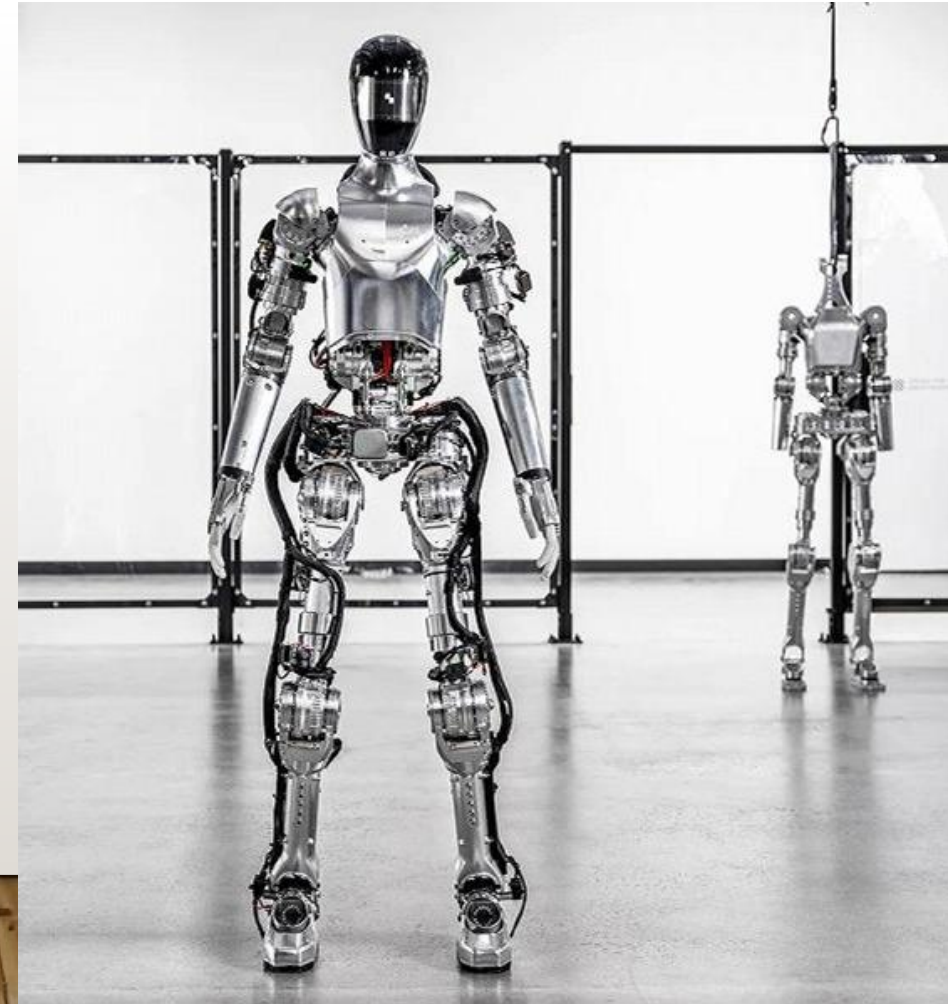


FIGURE 02

- 6つのカメラを搭載。
- 視覚言語モデル（VLM）による推論機能なども備えている。
- バーコードをスキャナーで読み取るため、荷物をひっくり返したり、平らにしたりするよう学習しているという。



コメント

- 人型であるが故に既存の現場にそのまま投入できますし、考え方を変えるとロボットが使えない時にも人が代替えできます。
- 段ボールやビニール袋の形状差にも対応して荷物を仕分ける姿に驚き。

感想

- ・ 人手不足の中で今後24時間体制を維持するのに必要不可欠な存在になるのではないかと考えた。
- ・ しかしこの作業がヒト型である必要はないのではないかの感じた。